

## 式 辞

百十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとう。今日から、この野田中学校の仲間です。

在校生および教職員一同、皆さんの入学を心待ちにしていました。新しい制服に身を包んでこの式場に入場してきた皆さんの顔は、たくましく輝いて見え、これから始まる中学校生活への期待と「これから三年間がんばるぞ」という思いが伝わってきて、とても嬉しくなりました。

本日平成28年度入学式を執り行うにあたり地域振興連合町会長、大阪府議会議員、校区の

校園長先生、小学校の元担任の先生をはじめ多くのご来賓の皆さまには、ご多用にもかかわらずご臨席を賜り新入生の前途をお祝いいただきました。高いところからではございますが厚く御礼申しあげます。 【有り難うございます】

さて、新入生の皆さんは、大半の人が校区にある吉野小学校、大開小学校を三月十七日に卒業しました。卒業式の時の校長先生のお話を覚えていますか？

吉野小学校の中島校長先生は、校長室に飾られている「学ぶにしかず」という中国の論語をもとに「一人で考えるだけでなく、ほかの人から学ぶことによって、自分の考え、意見をつくりあげていつてほしい」と話をされました。大開小学校の臼井校長先生は、『人との出会いは、人生に

とつてかけがえのない財産』との言葉を贈られ、『ありがとう』と言える人として有り続けることで、『ありがとう』と言ってもらえる人になつてくださいと」の話をされました。

その小学校卒業式では、皆さんは大きな声で

将来の夢を語っていました。それを聞きながら、大昔の自分自身を振り返り、中学校時代に、「将来、海外で働いて生活したいな」というぼんやりした夢、目標を持ち始めて、それが高校、大学における大きな指針になつていったことを思い出

していました。皆さんにとつてもこれからの三年間は、授業だけでなく学校行事、部活動など様々な場面で学び大きく成長できる時です。教科書に書かれていることを学ぶだけでなく、視野を広め主体的に動くこと、仲間の意見、考えを

理解することに努めてください。必ず自分自身の成長につながっていきます。

皆さんにお話したいことがもう一つあります。

先週、智弁学園高校の優勝で閉幕した第八十八回選抜高校野球の開会式で、小豆島高校のキャプテンが、**【当たり前にある日常のありがたさを胸に、僕たちはグラウンドに立ちます】**との選手宣誓を行いました。これは、自分たちの高校が来年の統廃合により消滅してしまうことの現実

を控えて、あたり前のように存在しずっと続いていくと思われていた景色が、ある日突然に根底から崩れることに気づかされ、生まれた選手宣誓だと聞きました。皆さんも、当たり前のように何気なく過ごしている日々の中にも、ささやか

ながらも「幸せ」が存在することに気づいて、「常に感謝する心」を持てるような人になってほしいと思います。

本校では、校訓である「自主・協調・友愛」の精神のもと、自らすすんでチャレンジし仲間を認め協力し合える教育活動に努めています。

さらに、今年度から生徒全員の意見を集約した形で生徒会が中心となつて学校目標を定め、その目標の実現に向けた生徒たち自身による自主的な学校活動がスタートします。

皆さんは、ここにいる先輩とともに、そして一、二年後には後輩を迎えて、野田中学校をさらに素晴らしい誇れる学校に、そして自分たちの充実した中学校生活が送れるように野田中学校の一員としてともに力を発揮してくれることを

願っています。

ここで、三月にフィリピンから来日し、本日、野田中学校に入学してこられた生徒に、英語でスピーチをおこないます。【英語】

遅くなりましたが、保護者の皆様、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。ま新しい学生服を身につけられたお子さまの姿を目にされて、小学校を卒業したばかりですが、一回り大きくなったように感じておられるのではないでしょうか。

わたしども野田中学校の教職員一同、「仲間とともに学びあう」ことの大切さを生徒に伝えるために、様々な教育活動を一層充実させるべく決意を新たにしているところであります。ご家庭におかれましても、お子さまの成長をしっかりと見守っていただき、学校との密な連携のもと、生徒が生き生きとした学校生活をおくれますよう、ご協力の程を宜しくお願いいたします。

最後に、改めて新入生の皆さん、どうか、  
これからの三年間の中学校生活で、いろいろ  
なことを学び、そして身につけ、自分の生き  
方に自信を持てる人になってください。皆さ  
んが互いに認め合い、励まし合って生きてい  
く姿をとても楽しみにしていることをお伝え  
して、式辞といたします。

平成二十八年四月五日

大阪市立野田中学校

校長 森川和彦